



Kenren No.64 kanon

神奈川県
合唱連盟
機関情報誌

2009年冬号

発行：2009.1.10

みなさまとともに

神奈川県合唱連盟理事長 田中登志生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、県連創立50周年記念事業に際しまして多大なご協力をいただきましてありがとうございました。50周年は県連にとってとても大きな事業でしたが、2月の記念演奏会では舞台と客席が一体となって‘みんなで’50周年をお祝いできたことは大きな喜びでした。この充実感はずっと心に残っております。

早いもので私が理事長の大役をお受けして2期目を迎えました。今までの3年間を振り返ってみると県連の事業の多さとその内容の多彩さ、そして事業を支える理事を始めとするスタッフの献身的な活動には改めて驚かされます。

県連の事業は常に目いっぱいのところ、新たな事業を行うのは大変困難な状況にあり、新たな事業を行うためには、現在実施している事業を見直していく必要があります。

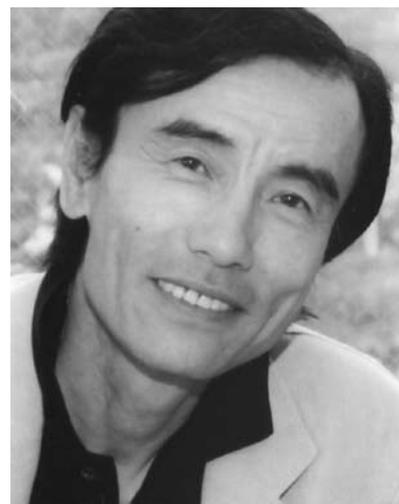
そのような中で今年度は、従来の合唱講習会を一部見直してNコン課題曲の講習会を開催しました。開催に当たっては様々な意見がありましたが、次世代を担う子供たちのためになる事業をやるべきとの考えから開催を決めました。この講習会を通じて中高生にとって県連がより近い存在となり、大いに利用していただければよいなと思っています。

県連では、ジュニア合唱祭、ユースコーラルフェスト、おかあさんコーラス大会、合唱祭、ヴィサンとジュニアからシニアまで幅広く事業を展開していますが、平成22年2月の合唱フェスティバルでは男声合唱を取り上げようという計画を進めています。また同年8月には関東おとうさんコーラス大会の主管なども予定されており、さながらおとうさんイヤーといった様相ですね。

これらの事業を行う上で大切なことは、より多くの会員が参加することです。会員の方々の参加なくしてはどの事業も成り立ちません。みなさんにとって、よりよい事業となるように県連スタッフ一同さらに努力してまいります。

みなさまからも、お気付きの点がありましたら、遠慮なく県連にお申し付けください。できることから随時改善してまいります。

今年も元気に、そして大いに歌い、充実した一年にいたしましょう。



主な内容

- ・ 第43回クリスマス音楽会「メサイア」
- ・ 第14回ヴィサンジョイント・コーラスフェスティバル
- ・ 全日本合唱コンクール全国大会
- ・ 合唱講習会
- ・ 県連からのお知らせ
- ・ コンサートガイド
- ・ 新理事紹介

第 43 回クリスマス音楽会メサイア報告

日 時：平成 20 年 12 月 7 日（日）14:30 開演
会 場：グリーンホール相模大野 大ホール
指 揮：小泉ひろし
ソプラノ：市原愛 カウンターテノール：上杉清仁 テノール：中嶋克彦 バリトン：与那城敬
合唱指揮：田中登志生
チェンバロ：大木和音 オルガン：宇内千晴 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
合 唱：神奈川県合唱連盟 相模原市民合唱団

12 月 7 日（日）に第 43 回を迎えた恒例の『メサイア演奏会』が開催されました。

前回までの 42 回の長きにわたって開催してきた県立音楽堂が改装工事中ということで、今回はグリーンホール相模大野での開催となりました。

■ 217 名の歌声響く

合唱団員はこの日のために練習に励み、事前の全体練習は 10 月 31 日から 7 回にわたって行われ、小泉ひろし先生、田中登志生先生のご指導により、本日の演奏会を迎えることができました。



演奏風景

例年県立音楽堂で行われてきた事前練習も県民ホール、アートホールなど様々な会場での練習となり、戸惑いはありましたが、いろいろな会場を経験できたことは大きな収穫になりました。

また、今回はグリーンホールでの開催ということもあり、相模原市合唱連盟のご協力のもとに総勢 217 名がステージに立ちました。

■ ホールはクリスマスムード一色に

ホールのエントランスも様々な飾り付けでクリスマスムードを演出します。合唱団員も自然と気分も盛り上がり、練習とは違うすばらしい響きがホールを満たします。



クリスマスムードいっぱいのエントランス

舞台裏では、「どこで立つの?」「ここがまだ揃わないんだよね」など直前まで不安を抱えていましたが、舞台上に立ってしまえば、その不安もいつの間にか消えて、グリーンホールのすばらしい響きに身を任せ実力以上のものが出せたような気がしました。

是非来年は一緒に歌いませんか！

（記事・事務局）



担当理事も出演しました

ヴィサンに携わって

ヴィサン副実行委員長 小宮チヨ

第14回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル in よこはま

日 時：2008年11月13日(木) 10:10 開演
会 場：横浜みなとみらいホール大ホール



おたまじゃくしの会

シニア部会の私がヴィサンで歌うようになって11年になる。ただ合唱が好きで歌って来て年を重ね、代表のなり手がなくお鉢が廻ってきたとき断われないまま、60名をまとめる難しさも深く考えずに受けて…

また、昨年春、県連の理事も順番だからと言われて素直に受けてしまった。そうしてヴィサンの実行委員の一人として手伝うことになった。

自分達の自主コンサートと違い、大きな器の神奈川県合唱連盟主催のヴィサンは、“人生百歳”を目標に歌って行こう!! というメッセージで14年前に立ち上げた合唱祭で、シニアの大きな希望を掲げた合唱祭ではなかろうか。初めは戸惑いながら、県連事務所へ何回通ったろうか。申込みから、チラシ、プログラム、座席表の作成と手分けしてする作業。毎回事務所での楽しい雰囲気の中での作業は（と言っても慣れない私は大したことも出来ないが）苦にならなかった。参加しているというだけで年齢を忘れて、イソイソと家を出るようになった。

しかし、本番前日の午後からの作業はこたえた。事務所で最後の作業があり、持って行く品を整えホールへ行く。明日渡す各合唱団のプログラムを人数分ずつ入れる作業、この時は事務局の方も、ベテ

ランの方もいて落度のないように、準備万端配慮して下さり、私など大したこともしないのに足が棒のようになるのを気にしながらの作業だった。

疲れをそのまま持ち越したら明日十分に歌えるだろうか、明日団員と一緒に行動できるのは集合から歌い終わるまで。遅れたりする人のないように気配り、手配りはしてあるもの大丈夫だろうか…帰りの電車の中で心配が心をよぎる。

そして当日。実行委員の他に手伝ってくださる方が大勢、朝早くホール前に集まりそれぞれの役割を伝えられる。サア！いよいよだ、実行委員の中で今日歌うのは二人。午前中あまり動き廻らないようにと配慮して下さり、動きの少ない役目を下さった。有難いことだ。

実行委員として裏方の仕事をさせて頂いているいろいろなことを知った。今迄、11回も出演していながら当たり前のように舞台上で歌っていた。裏方でこんなに何ヶ月も前からヴィサンを成功させるために骨折りをして下さっていること、また当日もこんなに大勢の方達のお陰でのヴィサンであったと知った今、恥ずかしさと申し訳なさで身が縮む思いでいる。出演する私達が気持ちよく舞台上で歌えるように…と隅々までの心配りに今更ながら感謝の気持ちでいっぱいである。

いろいろと反省の機会を与えてくれた一日でもあった。



実行委員のみなさん

『全国に響け！ 県代表合唱団』

密着取材～全日本合唱コンクール全国大会

今年も全国津々浦々から激戦を勝ち抜いたえり抜きの団体が、第 61 回全日本合唱コンクール全国大会に集いました。場所と日時は次のとおりです。

◎中学校・高等学校部門（10 月 25 日、26 日）

アルファあなぶきホール（香川県高松市）

◎大学・一般・職場部門（11 月 22 日、23 日）

岡山シンフォニーホール（岡山県岡山市）

今回は栄えある全国大会出場団体として神奈川県から 4 団体が出場し、全国から集まった有力団体との華やかな競演を繰り広げました。そこで今回はカノン初企画として神奈川県勢 4 団体を密着取材しました。



岡山シンフォニーホール

■密着取材～全日本合唱コンクール全国大会

職場・一般部門のトップバッターとして神奈川県勢の口火を切ったのは、職場部門代表の富士通川崎合唱団です。



富士通川崎合唱団

当日の出番は 7 番目。総勢 21 名と若干小規模なメンバー構成ではありますが、創立 61 周年を誇る歴史ある職場合唱団としてのサウンドは、ここ 3 年

連続での全国大会出場という勢いに乗り、毎年技量をあげているように感じました。

特に指揮者の加藤雅子先生が得意とするルネサンス・バロック期の音楽は、音色の自然さ、柔らかさを兼ね備え高い完成度を誇っています。それもあってでしょうか、今回選曲した課題曲 G1 『Cibavit eos』は生き生きとした躍動感とともに、まるで作曲された当手を彷彿とさせる絶品の演奏となりました。



加藤先生

また自由曲として選曲したモーリス・デュリュフレ作曲の『グレゴリオ聖歌の主題による 4 つのモテット』も、その美しさを十二分に引き出していました。ただ、部分的に音程の不安定さが出てしまったのは残念。人数が少ない団体ほどアンサンブルの精度を高める必要を強く感じました。

「県、関東、全国と 3 回の本番の中でベストの演奏でした。楽しく演奏できましたよ。」というコメントは指揮者の加藤先生。明るい笑顔でコメントしていただきました。

また、団長の富士さんは「気持ちよく出来ました。今回の曲は私たちの合唱団に合っていました。そういう意味で成果が出せました。今後は、2009 年 6 月 20 日に予定している 5 年ぶりの演奏会を目標に練習します。日立コールシステムプラザさんとの合同演奏会ですので、皆さんにも是非来てもらいたいですね。」とのこと。この演奏会も楽しみですね。（銅賞）

次に出場したのは一般 B 部門の小田原少年少女合唱隊。皆さんご存知の桑原妙子先生率いるジュニア合唱団です。創立は 1963 年。全日本合唱コンクールに過去 6 回の出場を果たしている実力派でもあります。

次に出場したのは一般 B 部門の小田原少年少女合唱隊。皆さんご存知の桑原妙子先生率いるジュニア合唱団です。創立は 1963 年。全日本合唱コンクールに過去 6 回の出場を果たしている実力派でもあります。



小田原少年少女合唱隊

7回目の出場を果たした今回は、出演順が1番目ということで、審査員をはじめとする会場中の注目・集中度が極度に高まった中での演奏となりました。が、そんな緊張感を見事に払拭し、大勢の聴衆を小田原ワールドに引き込む素晴らしい演奏を会場中に響かせました。

この団体の特徴は、曲の完成度もさることながら、声の透明感の高さにあるといっても過言ではないでしょう。また会場でも注目を浴びたカラフルな舞台衣装は、ヨーロッパの民族衣装をイメージして、桑原先生のお嬢さんが全員分を手作りで作成したという力作です。



表彰式での様子

45名の少年少女が奏でるのは、課題曲F1『Kyrie』と『Missa Brevis』からGloria、『フィンランディア賛歌』『Sednalo e Djore dos』の3曲。手作りの衣装とも相まって自由曲の世界観を見事に表現していました。この透明感あふれる演奏を基本として、各パート毎に奏でるフレーズの組み合わせに立体感が出れば、更に一層素晴らしい演奏になると感じさせてくれました。

桑原先生からは「まだまだ納得がいかない部分もあった。」と謙遜されたコメントをいただきましたが、インタビュー時に垣間見た桑原先生の笑顔から

は、大舞台で力を出し切った満足感があふれ出ていたように感じました。

本番に至るまでの過程では、歌詞の発音に関してラテン語の専門家の方にサポートを受け、また自由曲で演奏したフィンランド語やブルガリア語に関しては、現地の方と連携して発音を指導するなど、地道で積極的、かつクオリティの高い指導を重ねていました。このような努力の積み重ねが、全国大会での素晴らしい演奏につながっているのでしょうか。(銀賞)



桑原先生

エレガントなロングドレスに身を包み、ステージに並んだ35名の女性から発せられた声音からは、大人の持つ重厚感と同時に、母性を感じさせる女声独特の『温かみ』を感じました。

小田原少年少女合唱隊に続く一般B部門2番目の出演となる湘南はまゆうです。湘南はまゆうは、女声合唱団はまゆうを母体とし、1988年に発足した20年目を迎えた合唱団です。



本番終了後の湘南はまゆう

昨年は第31回全日本おかあさんコーラス全国大会に出場し、ひまわり賞を受賞する大活躍の年となりましたが、併せてJCAの合唱コンクールでも全国大会初出場となりました。

湘南はまゆうの演奏曲は、課題曲F3『巨船』と自由曲『甍のうへ』、女声合唱のための『抒情三章』から『甍の上』。自由曲2曲は同じ歌詞の曲を別の作曲家で聴かせるという、三好達治ファンからすると心憎い選曲でもありました。また全国大会に向けては、団員各自が曲に対して積極的に練習に取り組むだけでなく、歌詞に対して情報収集や現地取材な



松村先生

どを行うなど、楽しみながら曲への理解を深めていくという活動もしていたということです。このような姿勢からは『音』を『楽しむ』という音楽の原点を感じました。

指揮者の松村努先生からは「初めて歌えた全国大会のステージ。幸せな時間を過ごせました。」とダンディーな印象そのままの素敵なコメントを頂きました。また、代表の鈴木理恵子さんは「明るく輝く舞台から、客席の上から下まで全てが見えました。とても幸せに感じました。」と幸せそうな表情で語っていました。(銅賞)

■訪問取材～次なる目標へ

12月はじめのある日、横浜市郊外にある閑静な住宅街の中にひっそりと立つ横浜市立緑が丘中学校を訪れたのは日もやや傾いた午後3時ごろでした。

玄関先で気持ちよく出迎えていただいたのは、顧問で指揮者の根本はるみ先生。そのまま練習場へと向かい



緑が丘中学校

ました。そこではすでに50名近くの生徒さんたちが、今や遅しと私を待ち受けていました。

練習風景を撮影したいとの希望を告げると、早速根本先生の指揮で通し練習が始まりました。曲は2008年に合唱界でもブームを巻き起こしたアンジェラ・アキの『手紙』。NHK全国学校音楽コンクールの課題曲として皆さんも



練習の様子

ご存知の曲です。何でも今は2月に予定されている行事に向けて練習しているとか。その熱心な練習風景が私の心に響きました。

しばらく練習を見学した後、根本先生と部の代表

者の方に別室でお話を伺いました。

現在この合唱部は40名ほどの部員と、オーディションを経て参加する有志の生徒20名ほどが在籍しています。コンクールの全国大会には58名で出場しています。

根本先生に本番での録音を聴かせていただきました。曲は混声合唱組曲『ばらは、一つのばら』から『3. ゴッホ』。楽譜を見ながら聴きましたが、かなりの難曲です。ところが部員の皆さんはそれを見事に歌い上げていました。高度なソロ部分もあったのですが、それも澄み切った歌声で表現していました。今後はより制御されたffを目指し、各パート毎に異なるフレーズの立体感を表現出来れば、更に一層素晴らしい演奏になると感じました。

根本先生は「音取りだけでも数ヶ月かかり一時はどうなるかと思いましたが、この曲の作曲者である吉田峰明先生にご指導いただき、生徒達も曲に対しての理解を深めることができました。」と仰っていました。

「周りの学校はうまかったけど、私たちも自信を持って歌いました。」と語ってくれたのは副部長の戸ヶ崎優菜さん。口をそろえて「緊張しました。」とコメントしてくれたのは、ソロを担当した鈴木舞さん、2年生の新部長岩崎舞さんと佐藤直丈くんの3人。写真撮影の際に垣間見えた部員同士の強い結束力が、この素晴らしい演奏に結びついているのかもしれない。今後の活躍がますます楽しみです。(銅賞)

(記事・写真 カノン担当：栗林)



根本先生



皆笑って集合写真

合唱講習会報告

期 日：2008年9月14日（日）

会 場：横浜市旭区民文化センター「サンハート」

講 師：金川明裕（指揮者）

2008年9月1日から2009年3月31日まで県立音楽堂が耐震工事の為に休館となり、それに伴い例年12月に行われる音楽堂主催の『メサイア』演奏会が、今回初めて会場を移し、グリーンホール相模大野での公演となり、相模原市合唱連盟の加入団体も参加され、合唱団員は延べ220人ほどが見込まれていました。そこで今年的一般対象の合唱講習会は、相模原メサイア公演を盛り上げる一貫として、『メサイア』を講習曲として取り上げ、その中でも難曲である「No. 24 Surely He hath borne our griefs, and carried our sorrows」「No. 25 and with His stripes we are healed」「No. 26 All we like sheep have gone astray」「No. 41 Let us break their bonds asunder」（ノヴェロ版による）の4作品を取り上げました。

事前に申し込まれた合唱連盟の加盟団体はもちろん、講習会当日になっても多くの方がご来場下さり、172人もの受講者が集まりました。

もともと声楽家であられた金川先生、講習では非『発声』もと事前をお願いをしていたのですが、当日の直前打ち合わせになって『あなた（杉山）声楽家なんだし、折角だから発声お願いしますよ』とおっしゃり！？冗談だと思い、笑って流しておりましたが、それを聞いていた田中理事長、開会挨拶にて『これより発声になりますが、なんだかうちの杉山が担当するそうです』と、本当にやることになってしまい、僥倖ながら、講習会の前座？として私が発声を担当させて頂きました。



金川先生



指導の様子

いよいよ講習に入り、歌う前にまず『メサイア』という作品についての講義が行われました。12月の相模原でのメサイア公演は、小泉ひろし先生が指揮をされるのですが、かつては金川先生も小泉先生の指揮でメサイアを演奏されたことがあり、講習では小泉先生の解釈をもとに、金川先生の視

点を交え、より広く深い解釈が展開されていきました。

各曲の実戦に入る前に、各曲に使われている、聖書もとの文章を読んでもらいました。メサイアのテキストの殆どは預言書からで、キリストの生涯を書く福音書（マタイ、ヨハネなど）からはあまり採用されていません。しかも曲中に使われているテキストは聖書から部分的にピックアップされたものであり、それだけではメッセージをなかなか読み取れません。内容が間接的な表現だけに、理解するためにはすべての言葉を知っておく必要があるといえます。

難曲中の難曲41番のLet us～では、今回学生から参加してくれた大船高校合唱部のメンバーが若い力を発揮し、息の上だった大人たちをよく引っ張ってくれていました。

熱心な金川先生のレッスンに、会場は本番さながらの緊張感！ときおり飛び出す先生の冗談にお腹をかかえながら、あっという間の2時間半が過ぎ、盛大な拍手の中、講習会は終了しました。

今回、多方面でご協力下さった相模原合唱連盟の皆さん、伴奏を担当して下さった石原朋子先生、急遽お手伝いに駆けつけて男声パートを支えて下さいましたヘンデル室内合唱団の男声メンバーの皆さん、当日スタッフとしてお手伝い下さった方々に、心から御礼申し上げます。（実行委員長：杉山範雄）



スタッフ

県連からのお知らせ

第 32 回神奈川県合唱フェスティバル「多くの作曲家が愛する詩人：立原道造の世界」

日 時：2009 年 2 月 11 日（水・祝） 開演時間未定
会 場：神奈川県民ホール 小ホール 入場無料（要整理券）
内 容：詩人・立原道造の作品を集めた演奏会
出演団体（順不同）：朝日カルチャー横浜女声コーラス、富岡コール、緑フラウエンコール、
櫻の実コーラス、女声合唱団藍の会、女声合唱団横浜木せい会、
アンサンブル萌、女声合唱団滄溟、Ensemble Now、
Asian Winds（エージアン・ウィンズ）、Trinity、コーロ・はなみずき
バリトン独唱：杉山範雄
トークコーナー：ゲスト／宮本則子（立原道造記念館館長代理・副館長）

第 11 回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

日 時：2009 年 3 月 8 日（日） 10 時 30 分開演予定
会 場：神奈川県民ホール 小ホール 入場料：1,000 円
内 容：2 名以上 20 名以下で構成されたヴォーカルアンサンブル
コンテスト部門：ジュニア、男声、シニア、混声、女声の各部門別審査と総合審査
フェスティバル部門：来場者による審査
審査員：有村祐輔 栗山文昭 桑山博

第 31 回神奈川県ジュニア合唱祭

日 時：2009 年 3 月 29 日（日） 13 時開演予定
会 場：洗足学園音楽大学 前田ホール 入場無料
ゲスト：小原孝（ピアニスト）
内 容：県内のジュニア合唱団が一堂に会して元気な歌声を披露します
(1) 各合唱団の演奏
各合唱団の演奏と 2 団体が合同演奏をしながらステージを引き継いでいくソング
ブリッジを組み合わせて行います
(2) 小原孝コーナー
ピアニスト小原孝さんとジュニア合唱団による楽しい演奏を行います

お問い合わせ～いづれの催しも～

神奈川県合唱連盟事務局
(TEL) 045-681-6033 (FAX) 045-662-5119 スタッフ常駐・平日 12 時～16 時

神奈川県合唱連盟加盟団体

コンサートガイド



☆12月10日までに事務所へ
お届けのあった分について
掲載しました。

☆次回切は3月10日。
発行は2009年4月10日
の予定です。

2009年3月～

<h2 style="font-size: 2em;">3月</h2>	<p>8日 (日) 開演 13:30</p>	<p>Concert in レダの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇合唱との出会い 「希望のささやき」「秋の夜半」他 ◇ア・カペラへの目覚め 「夏は来ぬ」「汽車ポッポ」他 ◇一茶の俳句による「五つの合唱曲」 坪能克裕作曲 ◇「モーツァルトの百面相」 山川啓介作詩/鈴木輝昭編曲 <p>指揮：井守征子 ピアノ：加藤良江 キーボード：石渡由香里 細谷睦子 友情出演：カンタトーレ燐 会場：ヨコスカ・バイサイド・ポケット 入場料：800円(全席自由) お問い合わせ：倉澤 046-822-7644</p>
	<p>11日 (水) 開演 19:00</p>	<p>女声合唱団コーロフェリーチェ 第3回定期演奏会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「五つのシャンソン」 新実徳英作曲 ◇「中田喜直曲集」から「霧と話した」他 ◇宗教曲 ラター作曲 他 ◇ポピュラー ディズニーから「美女と野獣」他 <p>指揮：夏目張安 ピアノ：木田和美 会場：かなっくホール 入場料：1,000円(学生500円・全席自由) お問い合わせ：045-491-7277(Tel/Fax) フェリーチェ</p>
	<p>12日 (木) 開演 18:30</p>	<p>グループ Kai 湘南 トライアングルコンサート 鵜沼女声合唱団・女声合唱団 鈴の会・鎌倉 長谷コーラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「きまぐれなエッセイ」から 海野洋司作詩/南安雄作曲 ◇「中田喜直女声合唱曲集」から 「ねむの花」他 ◇「女声合唱のためのフォスターアルバム」から 岩河三郎編曲 ◇「そのひとがうたうとき」 谷川俊太郎作詩/松下耕作曲 ◇「ドナウディ歌曲集」から 「Quando ti rivedro」他 <p>指揮：田中登志生 ピアノ：小林順子 望月玲奈 若杉千晶 会場：横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,000円(全席自由) お問い合わせ：小林祐子 0466-22-7492</p>
	<p>21日 (土) 開演 14:00</p>	<p>コーロ・セレーナ 15周年 第四回演奏会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「愛する歌」から やなせたかし作詩/木下牧子作曲 ◇「合唱のための試み」から 小林秀雄作曲 ◇「遥かな歩み」 村上博子作詩/高田三郎作曲 ◇「ディズニー合唱曲集」から 伊藤幹翁編曲 <p>指揮：斎藤四郎 ピアノ：片野敦子 会場：横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,000円(全席自由) お問い合わせ：五十嵐敏子 045-582-3362</p>

3月	25日 (水) 開演 18:30	<p>大船高校合唱部 第20回定期演奏会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇世界の民謡 「SZELES A DUNA」「Toki gong」「牧歌」他 ◇コール・ルーエ ◇20周年特別記念ステージ…ミュージカルハイライト ◇ミュージカル『ピーターパン』大船高校合唱部版 ◇OB、OG合同ステージ 「メサイア」(抜粋) ヘンデル作曲 <p>指揮：鈴木夏美 ピアノ：飯野珠美 会場：鎌倉生涯学習センター 入場無料 お問い合わせ：神奈川県立大船高校 杉浦敏昭 0467-47-1811</p>
	26日 (木) 開演 18:00	<p>県立多摩高校合唱部 第43回定期演奏会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇混声合唱曲集「木とともに人とともに」 谷川俊太郎作詩／三善晃作曲 ◇混声合唱のための「ラプソディー・イン・チカマツ[近松門左衛門狂想]」 近松門左衛門詞／千原英喜作曲 <p>◇ミュージカル「Wicked」より「One Short Day」他 指揮：小川英子 矢吹誠(学生) 会場：川崎市宮前市民館大ホール 入場無料 お問い合わせ：小川英子 044-911-7107</p>
	31日 (火) 開演 14:00	<p>みどりと歌の仲間たちコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「金もくせい」 藤公之介作詩／小六禮次郎作曲 ◇「心の四季」 吉野弘作詩／高田三郎作曲 ◇「花のタンゴ」 きた・ひろし日本語詞／服部公一編曲 他 <p>指揮：阿部みどり ピアノ：古関美香 吉村美帆子 合唱：渚コーラス アンサンブル汀 ぐるーぷ和 ゲスト：混声カルテット・めだか 会場：逗子文化プラザ なぎさホール 入場無料 お問い合わせ：阿部みどり 046-871-2584(Tel/Fax)</p>
4月	3日 (金) 開演 18:30	<p>女声合唱団横浜アカデミー ～聖堂の響を求めて～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「La Messe des Anges」 Jean Lambrechts 作曲 ◇「Ave regina caelorum」 Guillaume Dufay 作曲 ◇「Domine, non sum dignus」 Tomas Luis de Victoria 作曲 ◇「I Got Rhythm」 George Gershwin 作曲 ◇「天満の市は」 間宮芳生作曲 <p>指揮：伊集院俊光 会場：日本福音ルーテル東京教会(JR新大久保 徒歩5分) 入場料：2,000円 お問い合わせ：森 046-255-4720(Tel/Fax)</p>
	3日 (金) 開演 18:30	<p>女声合唱団 けやきの会 第17回けやきの会コンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇トスティ歌曲による女声合唱曲集「アヴェ・マリア」から 北村協一編曲 ◇花・はな・華と題して 「さくら」 大熊崇子作曲 他 ◇女声合唱組曲「めぐり逢いは不思議ね」 内山登美子作詩／大中恩作曲 ◇日本民謡・わらべうたによる児童・女声合唱曲集「会津磐梯山」から 後藤田純生編／石丸寛編曲 <p>指揮：斉藤四郎 ピアノ：片野敦子 会場：横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,000円(全席自由) お問い合わせ：原和子 045-843-9283</p>

4 月	5日 (日) 開演 14:00	<p>女声合唱団クール・クロア 創立 50 周年記念演奏会</p> <p>◇「聖母賛歌」 高田三郎作曲 ◇「展覧会の絵」 日野秀夫作詩／ムソルグスキー作曲／甲田潤編曲 ◇「悲しみの枝に咲く夢」 大手拓次作詩／木下牧子作曲 ◇萩原英彦女声合唱曲集より 「つきのなか」他 ◇「五つの唄」 北原白秋作詩／三善晃作曲 指 揮：箕輪健 辻秀幸(客演) ピアノ：河本充代 前島あや子(客演) 会 場：藤沢市民会館大ホール 入場料：1,000 円 お問い合わせ：佐藤あつ子 0466-87-0725</p>
	25日 (土) 開演 13:30	<p>第9回ぐるーぷ“音の輪”&コール・ムッテル ジョイントコンサート</p> <p>◇春爛漫 花いっぱいステージ 「Say it with flowers」「ハナミズキ」他 ◇日本のこころを歌う 「女声合唱のための三つのメドレー」 寺島尚彦編曲 ◇オペラ オン ステージ 「タイム・トゥ・グッドバイ」他 ◇魅惑のソプラノソロと二重唱 ◇戦後の懐かしの曲をたどる旅 女声合唱のための「TOKYO 物語」より 猪間道明編曲 指 揮：山岸陽子 ピアノ：浅沼敦子 竹内宏佳 パーカッション：堺谷亜希子 ソプラノ：竹内宏佳 バリトン：小林秀史 演 出：吉泉和子 会 場：ハーモニーホール座間 大ホール 入場料：1,000 円(中高生 500 円) お問い合わせ：八代 046-253-3262 藤原 042-745-1749</p>

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを無料で掲載することが出来ます。是非ご利用ください。掲載希望の方は下記の項目を記したものを郵送かFAX、またはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。(送り先は巻末に記載)

- 掲載項目：1. 開催日時 2. 合唱団名(会員番号も併記してください) 3. 演奏会名称
 4. ステージ・曲目(作詩・作曲者名も記してください。紙面の都合で全てを載せられないことがあります)
 5. 出演者(指揮者・伴奏者など)
 6. 会場 7. 入場料金等 8. 問い合わせ連絡先

※カノン発行月と原稿締め切りの予定

春号 4月10日発行予定(×切：2月末日) 夏号 7月10日発行予定(×切：5月末日)

秋号10月10日発行予定(×切：8月末日) 冬号 1月10日発行予定(×切：11月末日)

新理事紹介

【シニア】

おたまじゃくしの会 小宮チヨ

今まで行事には参加するばかりでしたが、裏方をやる機会を得て、運営する側の苦勞が分かりました。この経験を団員にも伝えたいと思います。これからもよろしくお願いします。

【シニア】

コール・マーガレット 山下ナミ

ヴィサンなど参加してなかった行事のことも、理事をお引き受けたことで企画段階からかかわることができよくなりました。理事会の雰囲気がよくて楽しく仕事をさせていただいております。



写真右から小宮さん、山下さん、片寄さん

【シニア】

コーロ・セレーナ 五十嵐敏子・片寄瑞代

五十嵐さんのご都合により代役を務めております。理事会に参加して他の団体の方と交流もでき、仲間の輪が広がりました。



【職 場】

富士通川崎合唱団 栗林宏至

今年より連盟理事という重責を担わせていただくことになりました。まだまだ未熟者ではありますが、私の担当するこの県連の冊子（カノン）をはじめ、県連の各種行事でも皆様のお役に立てるよう、活動をしてゆきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

編集後記

今年は横浜開港 150 周年だそうです。記念のイベントが目白押しで、何だか今からワクワクしてきました♪

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon (カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 田中登志生

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通15 朝日会館4階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

ホームページURL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

**Japan
Choral
Association**
かながわ